川西町にぎわいづくり検討委員会

第３回ワークショップ

日時：令和6年１月２８日（日）

今日の進め方

1. これまでのおさらい　（約10分）
2. にぎわいを生み出す実験について　（約　5分）
3. 参考事例の説明　（約15分）
4. グループワーク1　（約50分）

テーマ「にぎわいを生み出す実験に向けてアイデアを出そう」

～　休　憩　～　（約10分）

5. グループワーク2　（約40分）

テーマ「にぎわいを生み出す実験の企画を考えよう」

第１回WSの振り返り

「中心市街地の可能性と課題の確認」
「施設の使い方を考える」

日時：令和5年7月2日（日）

■「中心市街地の可能性と課題の確認」

○グループワーク前半

そもそも「賑わい」ってなんだろう？　72項目

・場所：15項目

「賑わい」を作る「場所」として、既にある場所（ダリヤ園、井上ひさしの故郷、伊達三日月街道、フレンドリープラザ、商店街など）の活用・連携と、新しい遊び場が求められている。

・人：22項目

「賑わい」を作る「人」として、未来を担う子供や若者世代、人口比率が高まる高齢者、本町の特徴である「置農生」、観光客、外国人が期待されている。

・コト：35項目

「賑わい」を生み出す「コト」として、祭り、市、音楽やダンス、スポーツ大会等のイベントと飲食の期待が高い。

グループワークを受けて、そもそも「賑わい」とは？

○「賑わい」は、人が多いことに加え一人ひとりが活き活きできることが大事（数が少なくても能動的に活動する活き活きとした風景）。

○「賑わい」には、その場所に行くこと、その場所を使うことのハードルが低く、訪れやすいことが大事
（空間の雰囲気、利用の仕組）

○「出会い」や「交流」もキーワードとして注目される
（地域外の人の利用）

■「中心市街地の可能性と課題の確認」

○グループワーク後半

賑わいスポット（黄色）、賑わせたいスポット（ピンク）

「賑わいスポット」としては、

飲食店と食、スーパー、駅、祭りやイベント会場などが多く挙げられた。

「賑わせたいスポット」としては、

天神森古墳（遊び場）、フレンドリープラザ（喫茶店）、公園（フレンドリープラザ南）、エコスノードーム、三菱鉛筆（オープンファクトリー）、羽前小松駅（東西往来、カフェ、イザベラの鐘）、生きがい交流館駐車場（交流）、商店街（人流増加）、拠点施設（遊具）、皇大神社が挙げられた。

↓

「賑わいスポット」「賑わせたいスポット」と拠点施設の利用、連携した活動、役割分担が求められている。

■「施設の使い方を考える」

○グループワーク前半

拠点施設内（屋内外問わず）において、

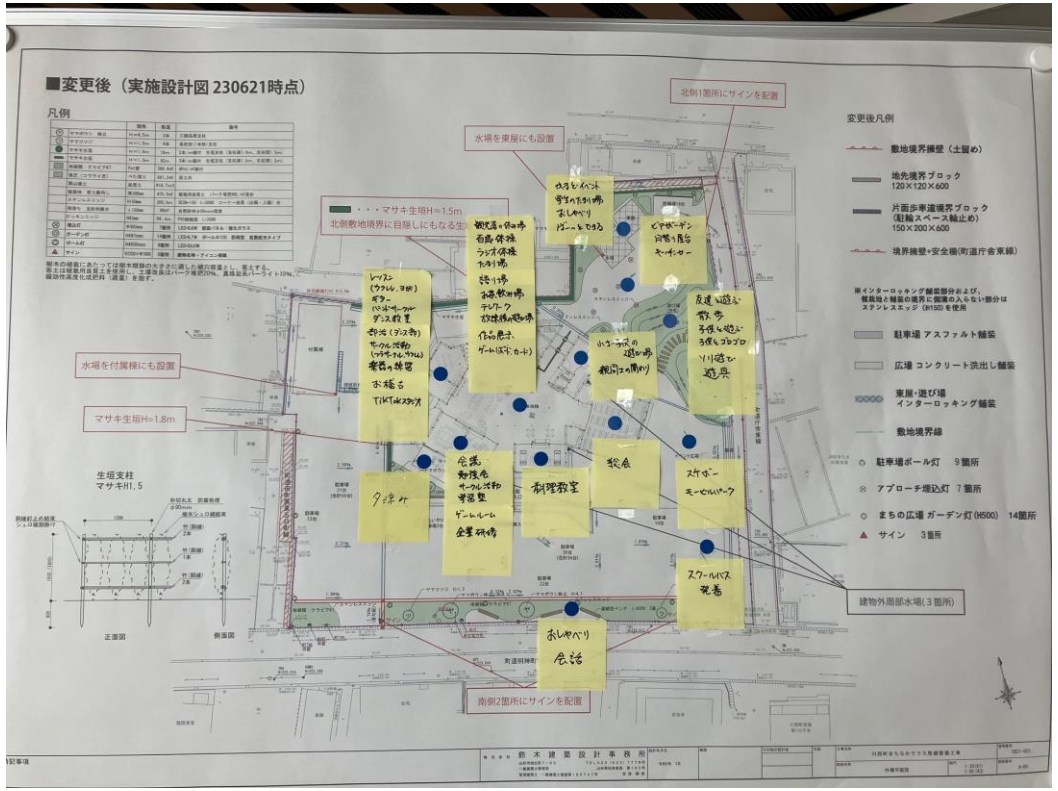
日常で「使いたい場所」

「使える場所」

「使いたい場所」「使える場所」を

「どのように使いたいか」

「どのように使えるか」



■拠点施設の「日常の使い方」

○多目的室、ホワイエ、芝生への利用イメージが多く上がった。

○ホワイエ、東屋、南側沿道緑地がゆるやかな「たまり機能」や「会話の場」にイメージされていることが特徴的（何気ない行動・行動の大事さ）。

○あらゆる場所の利用方法の可能性については、
「どうすれば実現できるか」という視点が重要。

■「施設の使い方を考える」

○グループワーク後半

拠点施設内（屋内外問わず）において、

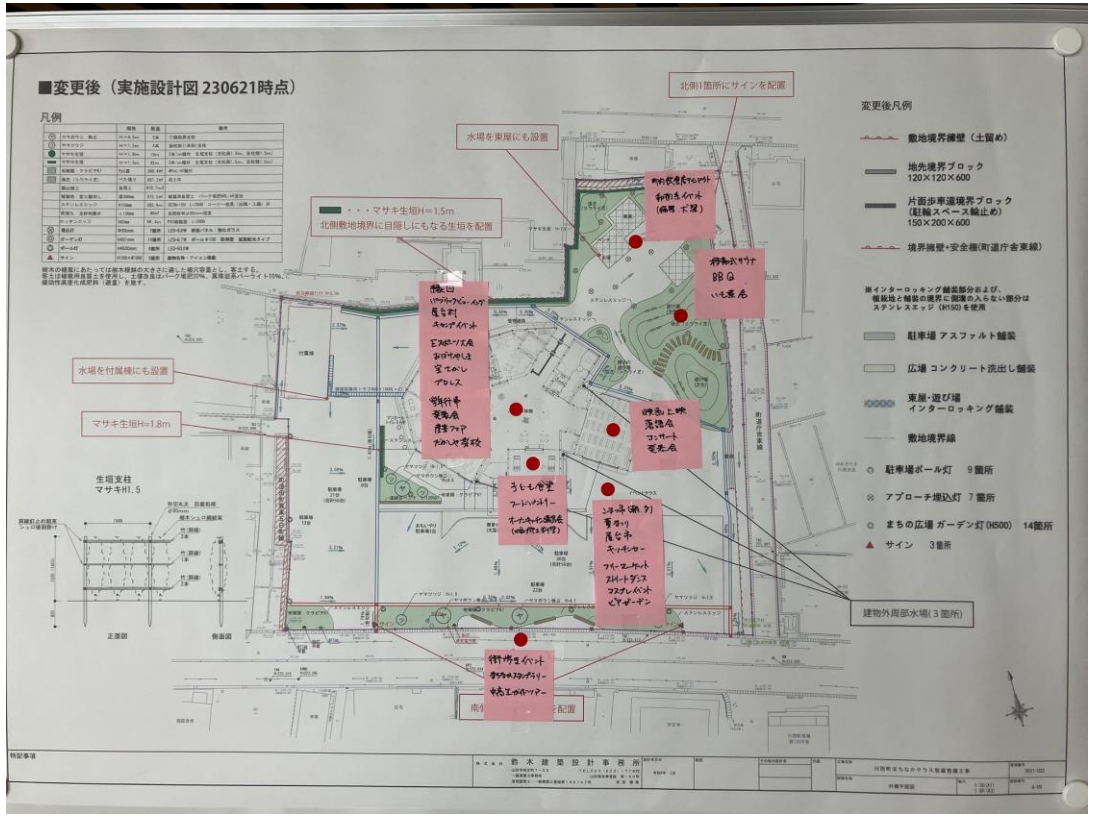
非日常で「使いたい場所」

「使える場所」

「使いたい場所」「使える場所」を

「どのように使いたいか」

「どのように使えるか」



■拠点施設の「非日常の使い方」

○ホワイエ、イベントテラスでの利用イメージが多く挙がった。
（イベント実施）

○あらゆる場所の利用方法の可能性については、
「どうすれば実現できるか」という視点が重要である。

○新規イベントの実現は、実施主体の組織化が必要となるため、
関心が高い人を集めること、そこでの対話から組織や企画が立ち上がる流れが必要。

先進地視察研修の振り返り

三条市図書館等複合施設
「まちやま」

日時：令和5年8月19日（日）

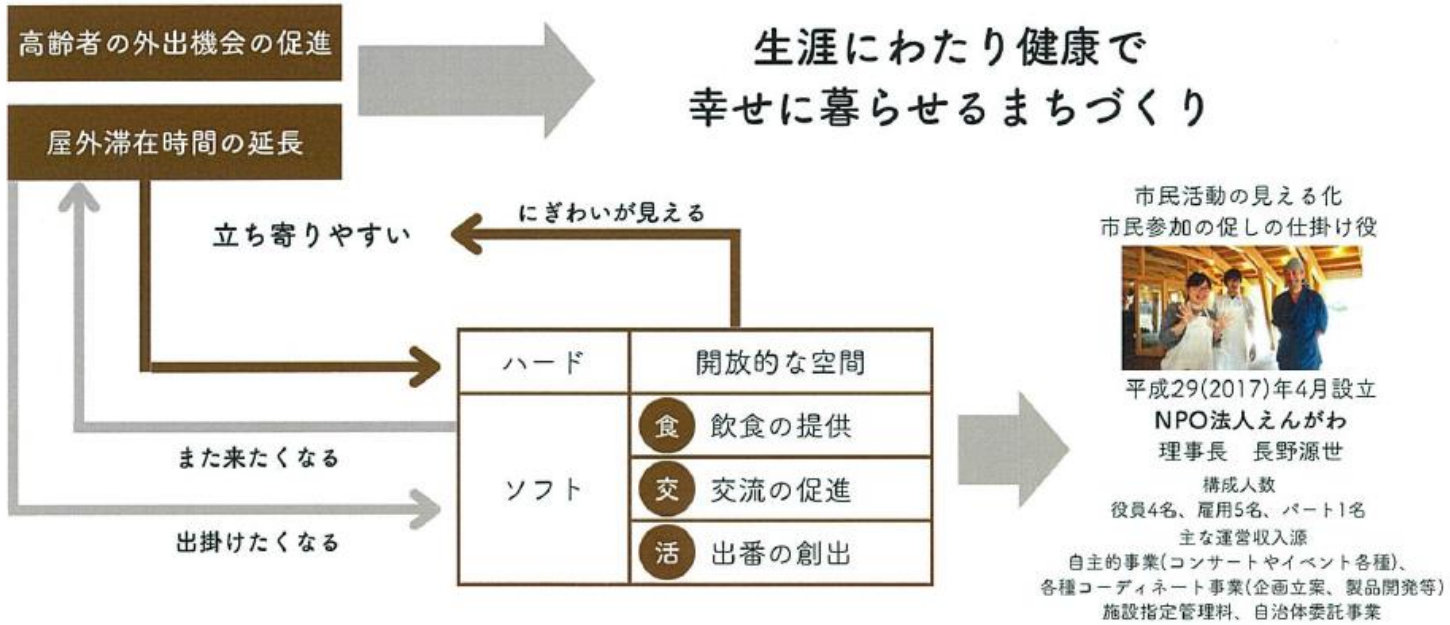
4. 各施設紹介－ステージえんがわ

概要

まちなか交流広場「ステージえんがわ」は、誰もが明るく、楽しく、元気よく、健康に暮らしていけるまちづくりの拠点です。休憩やサークル活動・発表会などにご利用いただけます。また、建物全体が「縁側」になっており、気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごせる自遊空間です。休憩や待ち合わせなど気軽にご利用いただける施設です。

コンセプト

外出機会が少なくなりがちな高齢者がでかけ「縁側」のように気軽に立ち寄り、ときには一人で、ときには知人と思い思いの場所を過ごせる空間として、また「ヒト」と「ヒト」、「ヒト」と「マチ」、「マチ」と「コト」をつなげていくハブ的な機能を意識しながら、生涯にわたり健康で幸せに暮らせるまちづくりを推進していくための核的な位置づけとして整備しました。

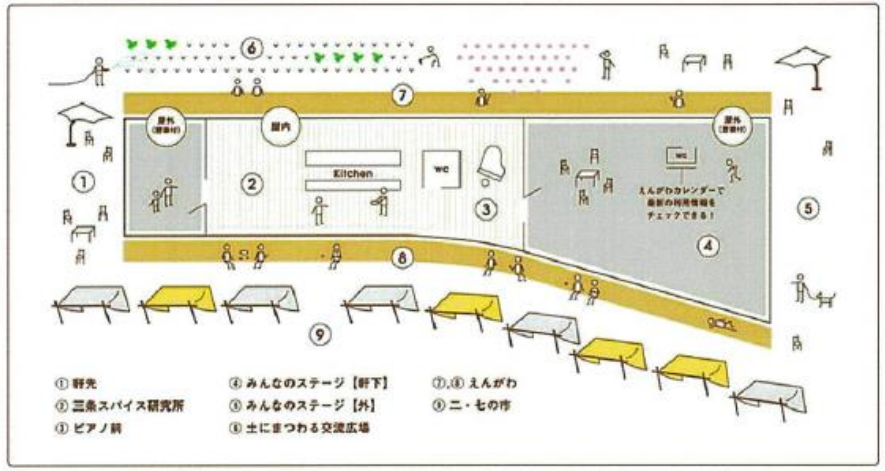


2016年3月26日 開館

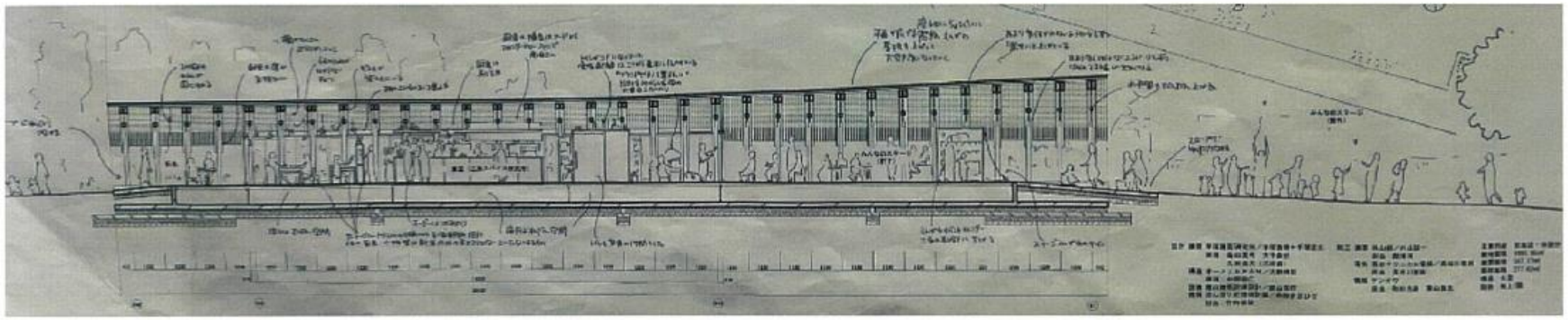
4. 各施設紹介－ステージえんがわ

建物概要

計80mの長いえんがわや広い軒下、どこでも気軽の腰掛けられるようになっています。そして建物には壁が存在せず、遮るものも隔てるものもありません。内と外の境界を曖昧にすることで、どこからでも入りやすいようになっています。



計画概要
敷地面積：1,693.95㎡
建築面積：347.17㎡
延床面積：277.67㎡
構　　造：木造
階　　数：地上1 階建て
主要用途：飲食店・休憩所
設　　計：
手塚建築研究所/手塚貴晴・手塚由比(建築)
＋オーノJAPAN(構造)
＋銀山建築設備設計(設備)
＋ぼんぼり光環境計画(照明)
施　　工：
外山組(建築)
＋長谷テクニカル電機(電気)
＋ケンオウ(機械)
建設事業費：
整備委託業務　61,479,904円
整備工事(本体・電気・機械)　131,722,200円



設計時のコンセプトシート

2016年3月26日 開館

4. 各施設紹介－ステージえんがわ

地域の方から、三角ちまきの作り方を学ぶ

家庭でもできるそば打ち体験

地域のラジオ体操

三条市のマンホールを転写する
マンホールトートバッグづくり

地域おこし協力隊による
木工教室

地域行事
三条夏祭りに合わせた設え

■「ステージえんがわ」のポイント

○「ステージえんがわ」は当初、高齢者が入りにくかったが、30～40代の子育て世代をターゲットにすることで、孫が高齢者（祖父母）を連れてくるようになった。

○高齢者は弁当持ち込み可能で、ずっとその場に居ていい仕組みになっている。

6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

①ツクール・ド・さんじょうとは

本でつながる
ツクール・ド・
さんじょう

「ツクール・ド・さんじょう」とは、代表企業　株式会社ヴィアックスとNPO法人えんがわの2団体による共同事業体です。フランス語の〝Le Tour de ○○"(○○1周)と、ものづくりの街三条から"つくる"と"三条"を掛け合わせて、三条のまちが一体となってつながっている様を表現した造語です。図書館とステージえんがわだけではなく、三条市内の各施設や店舗、そして三条市外も含めてつながりを広げ、市民とともににぎわいを創っていきます。

②ツクール・ド・さんじょう構成団体と想い

株式会社ヴィアックス

経営理念
私たちは、健全な企業活動を通じて、すべてのステークホルダーの幸せを追求します。

できること
市民の教育及び文化の発展
資料や情報を活用して、市民の学習や課題解決を支援するために役立つサービスを提供すること

NPO法人えんがわ

活動方針
①「やりがい」の支援
②「ものづくり」の継続的な自立
③「交流の場」の創出

できること
まちなかのにぎわい創出
人々が交流することでの連鎖反応が新たな地縁を生み出し、様々なコミュニティ・地域力を活性化すること

「図書館を"夢"でいっぱいに」

ヒト・コト・マチを交流させ
新たな地縁を生みだし
「にぎわい」を創る

＊「図書館等複合施設まちやま」令和4(2022)年度指定管理料　159,975,000円

■「指定管理者　ツクール・ド・さんじょう」のポイント

〇2社協働の指定管理者による運営とし、単なる施設管理ではなく、運営・経営が求められている。

〇施設運営・経営にあたり、半径300mから活動を掘り起こした。さらに、人の紹介でさらに情報を集めた。

6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

③協同運営の基本的な考え方『地域特性の活用』

私たちツクール・ド・さんじょうは、この地ならではの地域の力(ヒト・モノ・コト)を最大限に活かすということを、運営の基本的な考えにしています。様々な事業やイベントを通じて、地域とのつながりを学び、見て、触れることができるように計画しています。

モノ まちやま道具箱

開始：2023年6月1日～

内容：三条で生まれた道具や工具、刃物などを図書館利用カードで貸出しします。現在三条市内の企業を中心に、剪定ばさみや包丁、大工道具、電動ドライバー等、23セット約70種類を貸出ししています。また、貸出だけではなく道具箱の道具を使用したワークショップも開催しています。提供・メンテナンスは無償にて協賛いただいています。図書館利用カードで貸出しをすることで、多くの市民にご利用いただくことができます。

コト しばふ図書館

開始：2022年11月～

内容：図書館で利用されなくなった本を活用し、イベントなどで本が読める取組を行っています。スノーピークと連携し、スノーピークHQマルシェ等で出店、キャンプに来た方にまちやまを知ってもらう取り組みと併せて開催しています。地域企業との連携で生み出される効果や広報は数多くあり、今後も様々な企業と展開をしていく予定です。

6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

⑤実施イベントの様子

オープニングイベント
様々な地域伝統芸能の披露

ものづくりのイベント
木育体験～木のピアノを作ろう～

地域の方との大切なものとのコラボ
ぬいぐるみお泊まり会

三条夏祭り
キッチンカーやあかりの演出

まちやまで過ごす方に向けた
ひろばでのピアノラウンジ演奏

施設を利用したアクティビティづくり
ステージえんがわでのエアリアルヨガ

⑥令和4年度来館者数
別紙1参照

6. 指定管理者－ツクール・ド・さんじょう

⑦連携(科学教育センター・鍛冶ミュージアム・企業等)イベントの様子

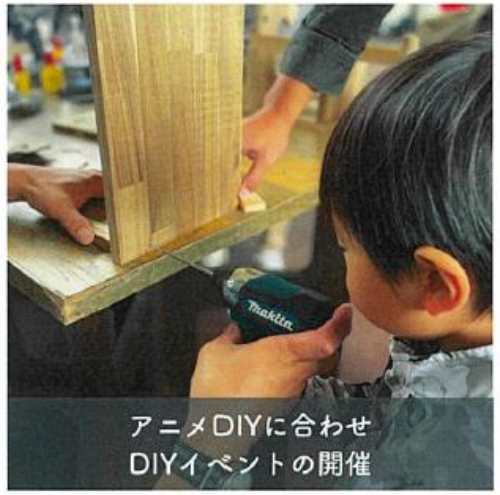
三条マルシェと合同開催した
科学の大運動会

無印良品との連携による
移動販売バスの出店

地元企業との連携によるものづくり
を伝えるクラシックカーイベント

鍛冶ミュージアムの展示品
鉈(なた)の実演会

ブックトークと
地元企業等とのワークショップ



アニメDIYに合わせ
DIYイベントの開催

■「イベント」のポイント

〇年間３００件のイベントがあり、まずは土着のイベントを調べた。

〇イベントを開催するにあたり、「チラシ」を撒いた。
（ＳＮＳより効果あり）

〇地域おこし協力隊がイベント企画を考えることもある。
⇒協力隊の活動が街に広がっている。

第２回WSの振り返り

「年間を通じた誰もが気軽に立ち寄れる
施設機能や施設運営の在り方」
「先進地視察研修を受けて取り入れたいアイデア」

日時：令和５年９月２４日（日）

■「年間を通じた誰もが気軽に立ち寄れる施設機能や施設運営の在り方」

○グループワーク1前半

自分自身が「利用者」となって具体的な運用を検討！

・場所は！？　⇒　ホワイエ　or　調理室　or　親子ルーム

・利用目的は！？　⇒　テレワーク、料理教室、ゲーミング、サークル活動、子供の遊び場、イベント観戦　等

・いつ使う！？　⇒　平日…9時～18時、19時以降、休日…10時～12時、15時～17時
※約2時間程度

・人数は！？　⇒　5人～20名程度（最大100名程度）

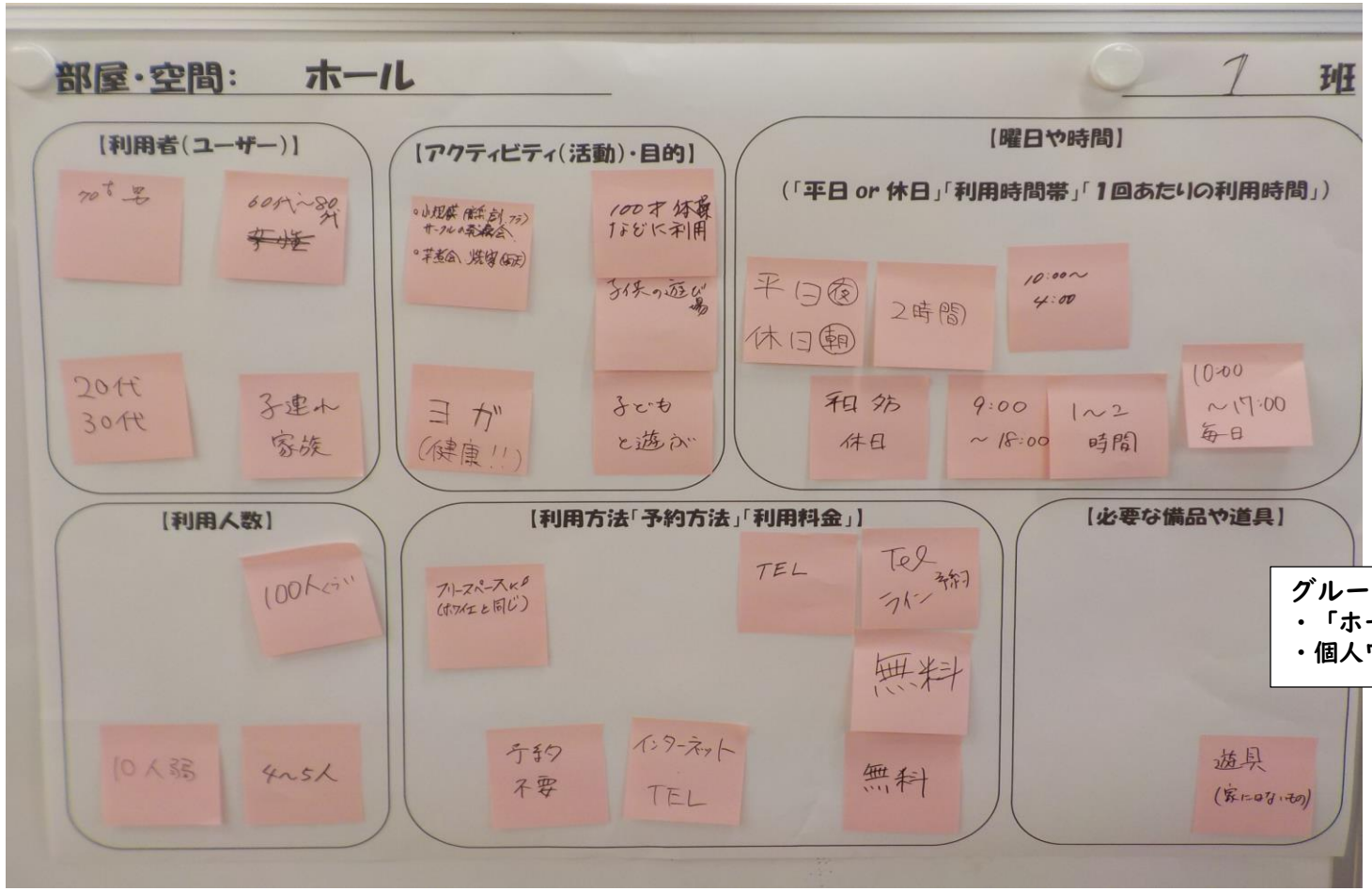
・予約方法や利用料は!?　⇒　原則予約不要で、無料。予約が必要なときは電話の他、スマートフォン等の専用アプリで予約。

・何が必要！？　⇒　Wi-Fi環境、大型モニター、子ども用遊び道具（持ち運び可能）ハンモック、ボルダリング、絵本、音響資材　等

○グループワーク1後半

・事務局から提案した「ホール」の日常的な使い方について検討

・個人ワークをベースに、グループでアイデアを「共有」



グループワーク１のまとめ
・「ホール」での日常的な使い方を検討
・個人ワークでの考えをグループで共有

■「先進地視察研修を受けて取り入れたいアイデア」

○グループワーク2

・「まちやまの運営」や「にぎわい創出の手法」について、アイデアとして出してみる

「これなら出来る！」

【運営のこと】
・勉強会
・えんがわカレンダー（予定の見える化）
・サークル活動、町内イベントの紹介（募集チラシ）

【にぎわい創出のこと】
・こまつ市（毎月）、落語会（毎月）
・春夏秋冬まつり、キッチンカー祭り
・防災食事会
・キャンプの研修
・特産品の展示
・300m のまち歩き（トレジャーハント）
・コンサート（ピアノ発表会）
・手作りのワークショップ（DIY）

「出来るかわからないけど、したい！」

【運営のこと】
・回遊型イベントの拠点として
・夜遅くまでの開館
・まちづくり団体の設立（２者以上の共同事業体）
・まちづくりのための助成金
・企業との連携（企画力・運営力）

【にぎわい創出のこと】
・こまつ市との連携(コラボ飲食店)
・コンビニ、移動販売
・グランピング
・多くのイベント
・夜のビアガーデン
・昼間カフェ（ケータリング）
・遊休ストック（空き家）の活用

■第２回WSまとめ（主な意見）

・地域おこし協力隊等の外部人材にも携わってもらうと、なお良いでは。
・にぎわいを創出するイベントを継続していくためには、お金を稼げる団体になる必要あり（NPO法人等）
・施設の利用状況（貸館状況）は、町内他施設と情報共有し、状況が分かる仕組みが必要
・利用料金は、町内or町外、営利or非営利等、使途によって変える必要がある。
・イベントは、まず地元の人（町内の人）に来てもらいたい。
・PRはSNSも大事だが、学校から子供たちに配布される紙媒体のものが効果的
・必ずしも大きなイベントである必要はなく、少人数のイベントでも良い。

■メインアドバイザーより総評

１)グループワーク1（前半）

これからできる拠点施設の日常利用の姿を想定しようという作業。様々な利用スタイルが見えてきた。何度も想定する機会を持ち、よりよい運営のための情報や条件を事前に洗い出すことが今後も求められる。

２)グループワーク1（後半）

特に多様な利用が考えられる「ホール」について、利用内容を想定する作業。様々な利用希望があることが見えてきたが、空間の棲み分けなど運用方法や利用のルールを今後整理してゆく必要がある。

３)グループワーク2

先進地視察の学びから具体的に応用できそうなことを議論。視察で視点が広がり、施設利用の方法だけでなく、施設の管理運営や地域経営の観点がより深まった議論だった。

拠点施設を中心に地域の活力を高めるには、その中や周辺で行われる活動が育つ必要があり、それには施設運営がしっかり関わりながら場所や人をマネジメントすることやコーディネートすることが求められる。

２. にぎわいを生み出す実験について

■にぎわいを生み出す実験について

【今回の目的】
非日常のにぎわいを作り出すイベントは、
企画 ⇒ 実験 ⇒ 検証 ⇒ 改良 ⇒ 企画…繰り返しが重要
検討期間の早い時期から実験を実施する

【今回の実験】
既存イベント＋「新しい要素」

【時　期】
令和6年3月

【場　所】
川西町農村環境改善センター　１階または２階

【実施体制】
既存イベント団体＋検討委員の皆さん

【第１回WSのまとめから】

・にぎわいをもたらす「要素」

「コト」…お祭りなど、飲食の絡むイベント

「ヒト」…未来を担う子どもたち、子育て世代　等

「場所」…すでにある場所の活用・連携

【第２回WSのまとめから】

・少人数のイベントでも良いのでやってみよう。

・地元の人に来てもらえるイベントを考えよう。

【ベースとなる既存イベント】

川西町こども食堂なかよしキッチン

※取組内容は後ほど紹介

【なぜ、なかよしキッチン？？…】

- なかよしキッチンは、毎月イベントを実施、活動が定着
- ターゲットが明確（子ども、子育て世代等）
- 食事会を実施（交流が生まれる、にぎわう）
- 今後まちなかテラスの活用も見込まれる

↓

にぎわいづくり検討委員会の実験として共催

【新しい要素の企画】

・フルスペックではなく、簡単に出来るものを検討

・まちなかテラスでの実施を想定した内容に…

【これなら出来る！（第２回WSまとめより）を参考に】

・春夏秋冬まつり　・キッチンカー祭り　・防災食事会

・キャンプの研修　・てづくりのワークショップ（DIY）

・コンサート（ピアノ発表会）　等

これまでの検討内容をベースに、「＋α」を検討してみよう。

３．なかよしキッチンの説明

川西町こども食堂なかよしキッチン
代表　佐藤　千恵美　氏

※説明動画、資料あり（あづま～る、クリスマス会チラシ）

Christmas Party

クリスマス会

12月10日

にちようび

ごご1じ～4じ

川西町こども食堂 なかよしキッチン 4周年 anniversary

川西町農村環境改善センターにて

川西町にお住いの中学生以下の子どもと保護者が参加できます

▶QRコードより、事前の申し込みが必要です

申込は１２月３日（日）まで

☆新聞紙めいろ☆ ☆けん玉ひろばスパイク☆

☆ふうせんたけさん☆ ☆子供服おゆずり会☆

☆スペシャルプレゼント☆

川西町こども食堂 なかよしキッチン

公式LINE

Facebook

問い合わせ：川西町こども食堂なかよしキッチン（代表）佐藤 090-9745-0175

☆新聞紙めいろ☆

13時00分～15時30分

（15時40分～ ビリビリタイム）

10月の食事会で大好評だった
高校生企画の新聞紙めいろが復活！

最後にはストレス発散のビリビリタイム！
みんなで楽しくお片付け♪

☆ふうせんたけさん☆

14時00分～

動きに合わせて音が出る不思議で楽しいサウンドアクトとバルーンパフォーマンスをお届けします。どうぞご覧ください。

☆けん玉ひろば

14時30分～ スパイク☆

パフォーマンスの披露と、自由参加のけん玉体験♪
当日 会場でけん玉認定試験を受けることができます！

☆スペシャルプレゼント☆

スターバックスコーヒージャパン株式会社様からご提供のホリデーギフト、ポケモンこども食堂応援隊様からご提供のお楽しみギフトをプレゼント！

☆子供服おゆずり会☆

着なくなった子供服を、次に必要とする方へ…。おゆずり会を通して、SDGsの12番目の目標「つくる責任・つかう責任」について考えよう！

クリスマス会

★もじあつめ
会場内に隠された５つの文字を探そう！
★新聞紙めいろ（２階）
１０月の食事会で大好評だった高校生企画！リクエスト多数で復活！
★子供服おゆずり会（２階）
不要な服を、次に必要とする人へ・・・。ＳＤＧｓに取り組もう。
★おりがみやさん
子どもたちが心を込めて折りました。お菓子もどうぞ♪
★ふうせんたけさん
可愛いバルーンのプレゼント。心を込めて作ります♪
★けん玉ひろばスパイク
けん玉体験コーナー。けん玉認定試験も受けることができます。
★千本引き
どれが当たるか分からない・・・。さぁ！ひもを引っ張って！
★スペシャルなクリスマスくじ引き
奮発して買いました。けっこう予算使ったよ！でもいいの！
★巨大さいころ（ＳＤＧｓコーナー）
出た目の数だけ景品ゲット！景品はフードバンクから寄贈された商品です。
★ジュース屋さん
ピンポン玉を投げてみよう。どのジュースが当たるかな？？
★サッカーチャレンジ
動くゴールにシュートできるかな？成功するまで挑戦してね。

午後2時～　バルーンパフォーマンス

午後2時半～　けん玉パフォーマンス

川西町こども食堂なかよしキッチン

クリスマス会

時間：午後１時 ～午後４時
期日：１２月１０日（日）
会場：川西町農村環境改善センター

保護者の皆様へ　～ おねがい ～

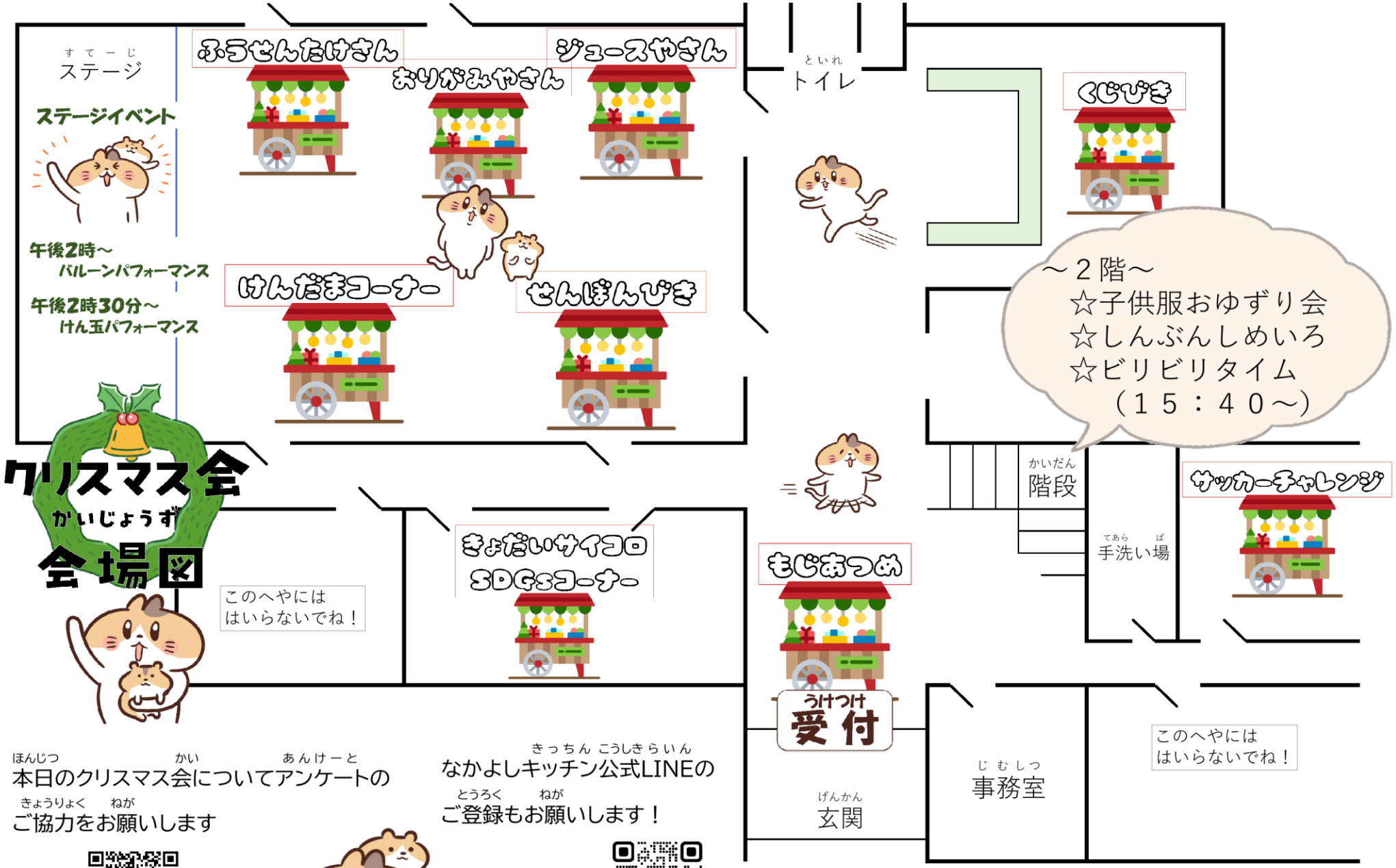
<u>①アンケートのご協力をお願いします（パンフレット内側）</u>
②メディアの取材が入りますのでご了承ください
③イベントの様子をフェイスブック等に掲載いたします
④ゴミは各自お持ち帰りください

公式LINE、作りました！
登録お願いします！

↓Facebook

お問い合わせ　sato.310@yahoo.ne.jp
090-9745-0175（代表　佐藤）

クリスマス会 会場図

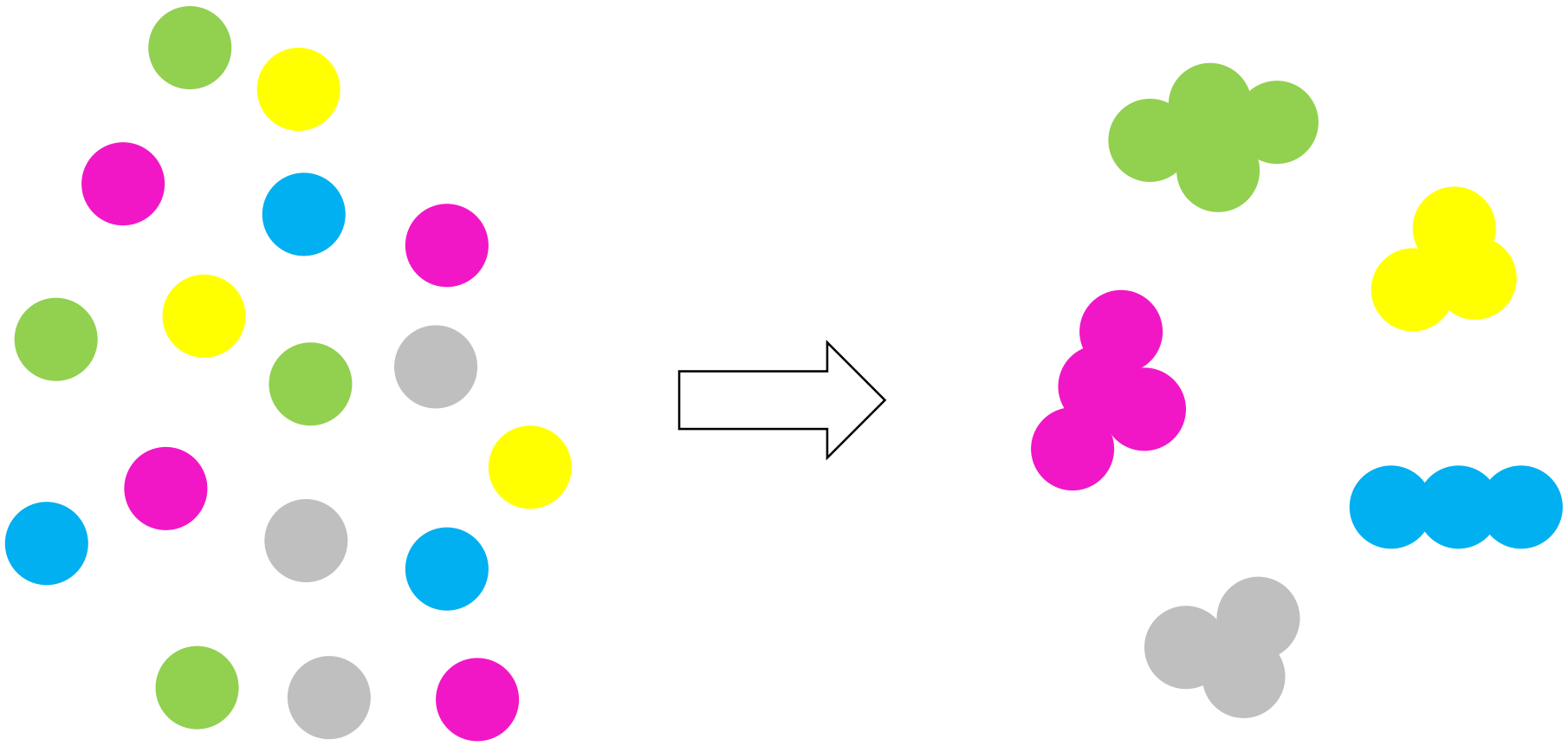


本日のクリスマス会についてアンケートの
ご協力をお願いします

なかよしキッチン公式LINEの
ご登録もお願いします！

グループワークを始める前に…

なぜワークショップをやるのか（おさらい）



1人ひとりのアイデア　　みんなのアイデア

１人だけでは絶対に生まれない

「誰か」と「何か」を「共有」すること

⇩

「にぎわい」の創出

ワークショップのルール

・みんな仲良く楽しもう

・どんなアイデアも出してみよう

・他の人のアイデアを大切にしよう

まずは、自己紹介をしよう

■自己紹介をしよう

…1人あたり約30秒

〇名前（あだ名でもOK）

〇所属や職業

〇2024年の目標

■進行役を決めよう

〇みんなで話し合ってください
〇立候補でもOK
〇特に責任はないので心配はいりません

進行役が決まったら挙手でお知らせください。
全グループ決まり次第、グループワークの内容を説明します！

■川西町こども食堂なかよしキッチン

〇3月のイベント内容（予定）

自由遊び＋食事会

〇ターゲット

町内在住の中学生以下の子どもとその保護者

〇日時

令和6年3月24日（日）　10時半～13時半

〇場所

川西町農村環境改善センター　1階

4. グループワーク1

「にぎわいを生み出す実験に向けたアイデアを出そう」

■グループワーク1

…約50分

テーマ「にぎわいを生み出す実験に向けたアイデアを出そう」

〇新しいイベント内容を考えよう。

〇こども食堂の取組みへの「＋α」

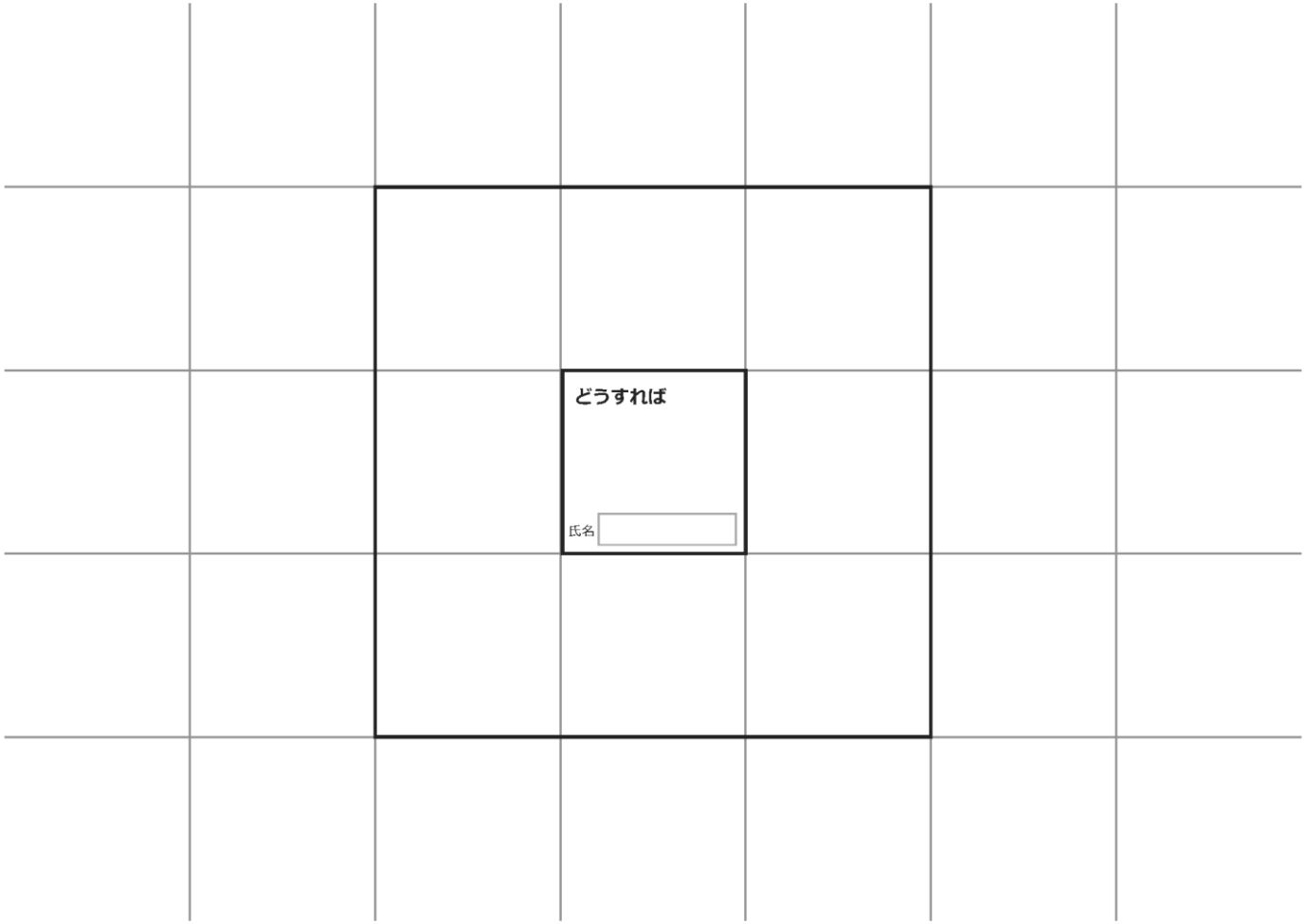
〇自分がやってみたいことを提案してみよう。

〇簡単に出来るイベントを考えよう。

■ワークシート

・机の上に用紙があります。

・シートの中央に名前を書きましょう。



■ワークシートの使い方

①
新しく
ひらめいた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
ふくらませた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
24案を超えたら
このスペースも
使ってください
ふくらませた
アイデア
1
2
3
③
新しく
ひらめいた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
8
どうすれば
生徒が地域と活発に
関われるようになるか？
氏名
4
ふくらませた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
②
7
6
5
新しく
ひらめいた
アイデア
ふくらませた
アイデア
ふくらませた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア
新しく
ひらめいた
アイデア

■アイデア出しの前に…

※以下の選択肢を参考にして、テーマを「１つ」選びましょう。

〇　どうすれば．．．

①参加者同士（子供同士、保護者同士）の横の交流を図れるか？（相互交流）

②スタッフ及びボランティアが参加者とコミュニケーションを図れるか？（参加者との交流）

③今までに来たことのない人にイベントに来てもらえるか？（新規参加者の開拓）

④防災意識を高めてもらえるか？（能登半島の地震等も踏まえて）

⑤上記以外で「これは？」というテーマがあれば、それでもＯＫ！

〇選んだものをワークシートの中央に書いてみよう。

■アイデアを出してみよう（個人ワーク）

…約5分

〇シート中央の「どうすれば．．．」を達成するために、
　ひらめいたアイデア（フラッシュアイデア）を考えよう

〇出来るだけ多くのアイデアを出してみよう
　※全部埋まらなくてもOKです！

■アイデアを広げよう

…約5分

〇ワークシートを同じグループのメンバーと交換して
アイデアを広げよう！

〇新しくひらめいたアイデアも書いてみよう
※つながるアイデア（発展ルート）は矢印で示してあげる。

■アイデアを膨らまそう

…約5分

〇さらに別の人とワークシートを交換してアイデアを膨らまそう！

〇アイデアが出たところで、元の人にワークシートを戻しましょう。

〇良いと思えるアイデアをセットにしよう！

■アイデアの共有

…約15分

〇考えたアイデア（ワークシート）をグループ内で共有しよう！

〇発表時間…１人あたり約３分

〇発表が終わったら、班の中でイチ押しのアイデアを決めよう！
※机上のシールを使って投票

■グループワーク1（全体）

…1班あたり約3分

〇各グループのイチ押しアイデアを発表しよう。

〇進行役が発表をお願いします。
　※進行役を補助しての発表もオッケー！

〇イチ押しアイデアを全体で共有しよう。

発表タイム

質問がある方は、各グループの発表後にお願いします。

休憩タイム・・・

※会場後方にお茶＆お茶菓子ありますのでご自由にどうぞ

５．グループワーク２

にぎわいを生み出す実験の企画を考えよう

■グループワーク2

…約40分

テーマ「にぎわいを生み出す実験の企画を考えよう」

〇グループワーク1で出したアイデアを実現するための手法を考えてみよう。

※アイデアのブラッシュアップ！

〇「3W2H」を考えて企画書を作ってみよう。

■ワークシート（グループワーク２）

班

〇なぜ（Why）【目的・趣旨】

〇誰に（Whom）【ターゲット】

〇何を（What）【イベント名・内容】

〇いくらで（How much）【準備物及び必要経費】

〇どうやって（How）【成功に導くための演出・アイデア】

…1班あたり約3分

発表タイム

- 進行役が発表をお願いします。
- グループの「推し」を伝えよう。
- 進行役を補助しての発表もオッケー！

本日の最後に…

■実験等への参加について（お願い）

○本日考えたアイデアを実際にイベントでやってみます。
　検討委員の方、ご協力お願いします。
　※後日正式な依頼を出させていただきます。
　※別途詳細打合せも予定しております。

○日　時
　令和6年3月24日（日）　午前中
○場　所
　川西町農村環境改善センター　１階または２階

全体のまとめ